

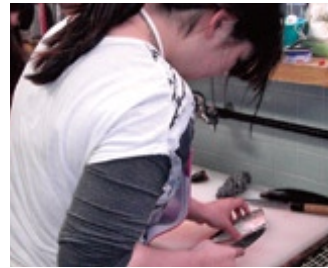
子ども農山漁村交流プロジェクト



子ども農山漁村交流プロジェクトとは、小学校による「農山漁村でのふろさと生活体験」を推進する取り組みです。これは、小学校5年生程度の児童を対象に、農林漁家での体験と宿泊を組み合わせたもので、将来を担う子どもたちに、体験を通して「生きる力」を育むことを目的としています。

南島原市は、平成22年度からこれらの受入地域として、農林水産省から指定を受けました。これは、安全対策も含めた受入態勢が整っていることの証であり、長崎県で5地域目となります。

受け入れについては、各学校の学年単位での受け入れを基本にしていますが、子ども会やグループでの受け入れも行っています。スケジュールや体験内容の検討など、市と観光協会がお手伝いしますので、農林漁業体験民宿を試みませんか。



実践者の声

- ・自分に体験を受け入れることができるか不安でしたが、実際に受け入れを行うことで自信がつかしました。
- ・最初、農林漁業体験民宿について、否定的な考えをもっていました。実際に受け入れをしてみると、思ったよりすんなり受け入れることができました。お客さんが帰られる時には、目頭が熱くなりました。
- ・先進地で宿泊体験を経験しました。これだったら我が家でもできると感じました。

旅行者の声 (モニターツアーのアンケート結果)

- ・実家に帰ってきたようで、ゆっくりした時間を過ごしました。
- ・ご主人の人生体験も含めた話を聞くことができました。また、地域の状況もよく理解できました。
- ・普段できない体験に新鮮さを感じました。
- ・次に来るときも、同じ家に泊まりたいと思いました。
- ・将来自分も南島原に住んでみようかと思いました。
- ・充実した時間を過ごせたので、あっという間に時間が過ぎました。

「農林漁業体験民宿」に関するお問い合わせ

南島原市 商工観光課 観光振興班
 ☎050(3381)5032
 kankou@city.minamishimabara.lg.jp
 南島原ひまわり観光協会
 ☎0957(76)1800
 kankou@himawarinet.ne.jp

農林漁業体験民宿は、お盆やお正月に親戚を迎い入れるように、観光客を宿泊させるもので特別なものではありません。

旅行者は、田舎の飾らない普段の生活を楽しみに来るのです。

受け入れ前には、実際に先進地で宿泊体験をしたり、研修会を開いたり、同じ実践者との意見交換なども行いますので、何の心配もありません。

さあ、地域を元気にする「農林漁業体験民宿」への取り組みを、みんなで始めましょう。

さあ始めよう 農林漁業体験民宿



じゃがいもの収穫体験

体験型観光とは？

体験型観光では、あるがままの地域の暮らしや、農林漁業体験を通して、「ほんもの」と出逢い、地域の人々と交流することで、地域固有の文化やそれを守ってきた技、知恵などに触れることができます。その体験によって新たな価値観が生まれ、今後生きてゆくための大きな活力となることが期待されています。

このことは、南島原そのものが体験の場であるといえます。農林漁業を営む皆さんの生き様に触れることで、旅人の心が高まり、感動を覚えます。自然と人を中心に地域の資源を生かした地域振興、それが体験型観光です。

地域のメリットは？

- ① 経済的効果
 - ・「食材」「人材」「地域資源」など地産地消にこだわることで地域に及ぼす経済波及効果が大きい。
 - ・体験型観光は地域の新たな産業となる。
 - ・体験や宿泊を受け入れた農林漁家には体験料が入る。
- ② 精神的効果
 - ・このまちに暮らすことの自信と誇りを実感し、地域全体が元気になる。
 - ・社会貢献の場は、ここに住む人々の生きがいとなり、都市と地方の役割を実感する。
- ③ 地域づくり
 - ・体験型観光は観光振興と共に地域づくりの要となる。
 - ・雇用の促進、人的交流の拡大、更には流出人口の抑制効果が期待できる。
 - ・観光素材の発掘作業を通して、地域のすばらしさを再確認できる。

体験型観光は、地域の皆さんが主役!

体験型観光の利点は？

体験型観光は、大きな設備投資の必要がなく、比較的容易に事業を始めることができます。

体験の場所も自宅や畑、田んぼ、海、そして地域の自然です。案内は、受け入れを行う皆さん。「あるものを提供する」ことが、体験型観光の利点なのです。



親子によるイチゴ狩り



視察先でのそば打ち体験

農林漁業体験民宿を始めるには？

- 次のような手順で進めます。
- ① 南島原ひまわり観光協会への加入
 - ② 消防署や保健所への申請
 - ③ 関係機関による現地審査
 - ④ 旅館業（簡易宿所）の認可
 - ⑤ 安全衛生講習会受講
 - ⑥ 営業開始
- ※申請手続きなどのお手伝いを、市と観光協会で行います。
- ※申請料は、観光協会が一部助成します。



いい雰囲気ですね。